VOL. 24 2014. 04
平成26年4月発行

東京奥能登応援団だより

東京奥能登応援団事務局
〒102-0083
千代田区麹町4-8
石川県紀尾井会館
石川県人会 内
TEL 090-8876-4901

ごあいさつ

珠洲商工会議所会頭　刀祢　秀一

東京奥能登応援団の皆様には、益々ご清栄のこととと拝察いたします。

平素は、当地の情報発信における最前線でご尽力を頂いている事に心からお礼と感謝申し上げます。

昨年11月1日より会頭を拝命して5カ月が経過いたしました。私なりにささやかなチャレンジとして、長中期に分類した外貨獲得策・インバウンドを含めた交流人口の拡大を重点に置き直接的・間接的・相乗効果的な活動を行っていきたいと思います。

中期的には、日本三大芸術祭の開催に向けて情報収集と勉強会の実施、今年2月に設立した奥能登里山里海国際芸術祭実行委員会と連携を取りながら、29年の開催に向けて行政をはじめ各諸団体と準備を進めて行きたいと思っております。

また、長期的には、インバウンド事業の強化推進、県内商工会議所、商工会と連携した特定複合観光施設区域の誘致活動などを提案して行きたいと思います。

来年には、いよいよ北陸新幹線が金沢まで開通いたします。首都圏の皆様におかれましては、新たな交通手段の誕生と思っております。能登空港との併用により、故郷が更に近くなったのではないでしょうか。

これからは、貴応援団や東京珠洲会、東京事務所、石川県人会の皆様のご協力を頂きながら、能登の情報を首都圏の皆様に広くお届け出来るように努力して参りたいと思っております。どうかよろしくお願い申し上げます。

「東京奥能登応援団のホームページ」アドレスは http://okunoto.net です。

こらむ　アイデンティティ　22

奥能登「恋路駅」から「幸福駅」へ

ある新聞で、北海道帯広市の旧国鉄広尾線「幸福駅」の改築工事が終了し再出発するという記事を目にした。数年前ふとした機会があってかつてブームとなった駅舎に出向いたことがあったが、広さ20メートル位の古びた駅舎の内・外の壁や天井を問わず切符、名刺、写真、チラシなどがまるでお札のように貼り尽くされていた。

その数限りない中に、何と〝奥能登「恋路駅」から「幸福駅」へ〟というキャッチフレーズを発見したのである。名刺から紛れもなく奥能登からの来訪者であることに間違いないと、何とも言えぬ感慨を覚えたのであった。

恋路は小学校の頃遠足の目的地であり、一年担任の女先生の嫁がれた在所なので少年の頃から徒ならぬ縁の地であった。伝説的な民話～鍋乃と助三郎の悲恋物語は愛の妬みや捩れをまざまざと端的に語るのであるが、幼な心には二人の純粋な愛の美しさと強さがむしろ憧憬させられるのであった。

白い岸壁、緑の小島、静かに波打つ青い海岸に主人公二人の像・ハートのモニュメントがあり、文字通りうるわしい恋路海岸がそこに在る。平成17年（2005）にのと鉄道能登線の廃止により廃駅となった恋路駅は平成25年4月から奥のとロッコ鉄道として「のとロ」を旧恋路駅と宗玄トンネル間で開業している。恵まれた自然と人の知恵で、祖先のネーミングしたこの素敵な「恋路」ということばにあやかり、恋人の聖地として幸せな福へいざないたいものである。

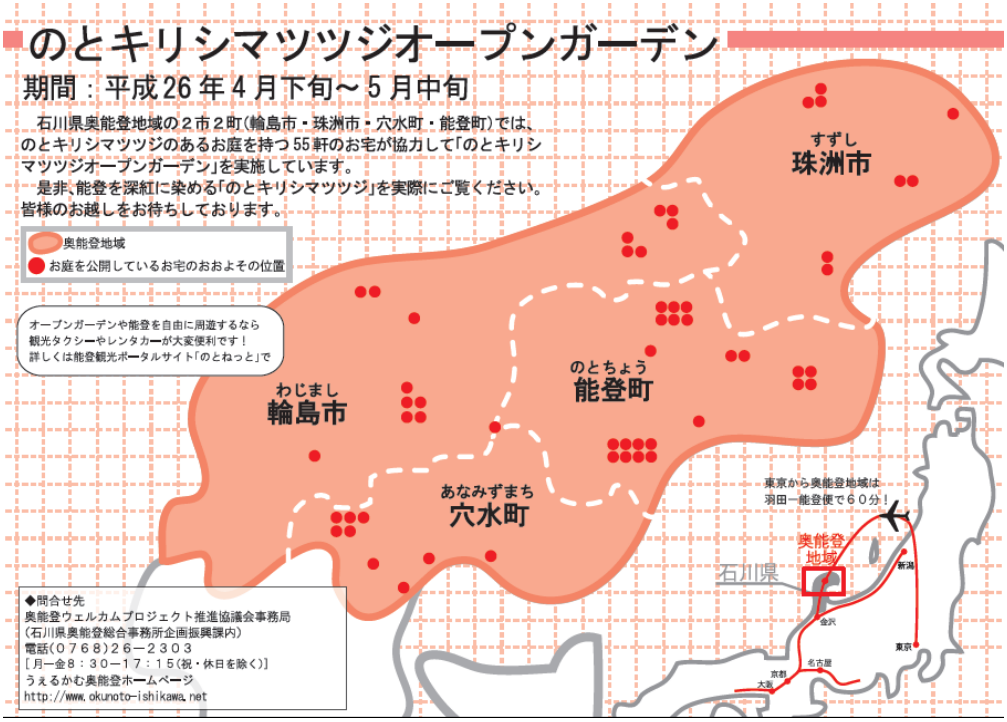
（押上武文〈府中市・宝立町出身〉）

のとキリシマツツジの開花迫る

深紅に燃えるのとキリシマツツジのオープンガーデンが一般に公開されます。「のとキリシマツツジ」は、ツツジ科ツツジ属の常緑低木で深紅色の花びらが咲きます。花びらの色や形は地域によって異なり、「谷を一つ越えると違いがある」と言われ、満開時期には見事な花を咲かせます。オープンガーデンとは、個人の庭などが一定期間公開される活動です。

期間　４月下旬から５月中旬

珠洲市・能登町・輪島市・穴水町５５箇所



樹齢３００年の古木を守る

珠洲市大谷町の池上宝蔵さん（８８）宅・石川県の天然記念物　もともと能登町宇出津にあったものを、幕末に先祖が手に入れ、船で運んだと伝えられています。昭和２０年に木の世話を任された宝蔵さん、以来６０年近く懸命に守り続けてこられました。のとキリシマツツジは雪に弱く、雪から守ることに一番苦労されたとのこと。今年からはご子息の権八さん（６３）が東京から帰郷し、世話役を受け継いでいきます。

写真上は池上家の県指定天然記念物キリシマツツジ、左上は桜井家、左下は前家の開花風景です。

※注意

民間の居住地内が一般に開放されて開催されます。静穏を守りながら鑑賞致しましょう。

☆ふるさと行事

５月４～６日　ラ・フォル・ジュルネ金沢「熱狂の日」音楽祭（金沢市）

５月２・３日　とも旗祭り（能登町小木）

５月３・４日　大谷川鯉のぼりフェスティバル（珠洲市大谷）

５月４・５日　青柏祭（七尾市）

５月１２日　千枚田田植え（輪島市）

５月２４・２５日　赤崎・苺一会（能登町）

６月６～８日　百万石まつり（金沢市）

７月４・５日　あばれ祭（能登町宇出津）

７月２０日　恋路火祭り（能登町恋路）

７月２０・２１日　飯田燈籠山祭り（珠洲市）

７月２６日　松波人形キリコ祭り（能登町）

７月２８日　能登半島最北端の灯り（珠洲市）

大谷川鯉のぼりフェスティバルの風景
中央の舞台を中心に様々な催しが行われる

飯田高校同窓会東京支部拡大幹事会開催

去る１月２６日（日）千代田区内グランドアーク半蔵門において「石川県立飯田高校同窓会東京支部拡大幹事会」が開催され、泉谷珠洲市長、刀祢珠洲商工会議所会頭ら来賓を含め４０名が参加した。

冒頭「最近の世相について思うこと」と題した表久雄氏（前支部長）による講話があり、振り込め詐欺などの具体例をあげて『情報社会の中に混入する嘘』について興味深いお話が展開された。

懇親会では、スポーツで活躍する後輩や里山海道の無料化により観光客が増加している現状などが話題になった。

最後に、谷辰夫支部長から5月の総会開催の要旨が発表され、再会を約して散会した。

※飯田高校同窓会東京支部総会開催のご案内

日時：５月２４日（土）午前１１時３０分

場所：グランドアーク半蔵門　３階華の間

特別講演、バイオリン独奏などを予定

飯田高校同窓会東京支部幹事の皆さん

関西、東海で「珠洲会」が創設される！

☆関西珠洲会

昨年１１月４日大阪市・大阪弥生会館において４２人の参加で関西珠洲会設立総会が開催された。会長に選任された寺田和彦氏（ノトスコーポレーション社長）が「会員の親睦を深めながら、故郷のために活動を進めたい」と挨拶した。地元から泉谷市長、刀祢会頭らも参加し、馬緤キリコ太鼓もアトラクションで披露された。

役員（出身地）　会長　寺田和彦氏（三崎）

副会長兼事務局長　北沢達成氏（宝立）

連絡先　〒５９７―０００１大阪府貝塚市近木９７２―１　グランドストアビル１階

㈱ノトスコーポレーション内

電話・ＦＡＸ　０７２―４４１―４００８

携帯　０９０（７１００）９６７４

☆東海珠洲会

２月９日名古屋市・アイリス愛知において約４０人の参加で東海珠洲会設立総会が開催された。会長に選任された吉野修進氏（吉野修進税理士事務所）が「しっかりと活動に取り組み、故郷の発展に力を尽くしたい」と抱負を意欲的に語った。地元から泉谷市長、刀祢会頭らも参加し祝辞を述べた。

役員（出身地）　会長　吉野修進氏（東山中）

副会長　砂山幸雄氏（飯田）

連絡先　幹事・矢黒憲昭氏（折戸）

〒５０９―０２６１　岐阜県可児市虹ケ丘３―３９

携帯　０９０（４８５９）７５２２

東海珠洲会創立総会の風景

於：アイリス愛知（名古屋市）

珠洲商工会議所・今井欽次前会頭はじめ関係各位のご尽力により、関西と東海で相次いで「珠洲会」が設立されましたことに敬意を表します。過疎化・少子化問題などに直面する郷里に対する何よりもの応援になるものと思います。両会のご発展を心からお祈り申し上げます。各地の「珠洲会」の相互交流が深まって、将来、東京珠洲会、当応援団とも合同で「郷土訪問旅行」などが適えられればと念じております。

☆七尾鹿島珠洲会

２月２日七尾市・番伊において、２８人の参加で第３８回定期総会・懇親会を開催した。

地元から泉谷市長も参加し、珠洲市の近況と今後の取組などを述べた。例年のように兄弟姉妹か親戚のような和やかな雰囲気で懇親となり、七尾まだらで盛り上がった。

会長　前山正一氏（大谷）、副会長　神戸宏和氏（野々江）、幹事　川口嘉夫氏（大谷）

連絡先　〒９２６―００１２石川県七尾市万行町２４部３６―１　川口嘉夫様電話　０７６７―５３―００１４

頑張る奥能登人

船本洋治（雅号芳雲）氏（鎌倉市在住・珠洲市宝立町出身）

１９４２（昭和１７）年　樺太生まれ
１９６１（昭和３６）年　飯田高校卒業
㈱不二出版、書燈社理事長を経て現顧問
２００３（平成１５）年　毎日書道顕彰芸術部門賞
第６５回毎日書道展で最高賞・文部科学大臣賞
毎日書道会理事・全日本書道連盟監事・日本詩文書作家協会会長

☆メッセージ

私の書は、漢字かな交じり書という部門です。だから誰にでも読めて親しめるものです。本来、書とはそのようなものです。一作一作その内容と書表現を楽しんでください。私の故郷、また皆さんの故郷を見つめることができるでしょう。

首都圏のふるさと関連行事

○４月３日（木）～８日（火）　横浜そごう６階　船本芳雲書展　―沁みいる故郷―

飯田高校同窓会有志などによる書展鑑賞会
４月５日（土）午後３時そごう美術館集合
午後５時、見附島の壁画のある居酒屋・ごっつあん（ＪＲ桜木町駅前）にて懇親会（会費５０００円）

○４月２７日（日）１３：００―所沢市　庚申堂厄神社春季祭　キリコ担ぎ出し担ぎ手募集　東京で能登の祭りをやろう会　八木淳成会長　０３―３９８９―１８０８

○７月２６日（土）昼頃から　新宿・ハイアットリージェンシー東京「第２回いしかわ百万石の集い」谷本知事県政報告、交流広場、郷土芸能ステージなど

写真左下は、映画ロケで使用された木ノ浦海岸の舟小屋

（写真左上は昨年の「百万石の集い」の一風景、中央は東京珠洲会笠原会長）

珠洲が舞台の映画二題

珠洲を舞台にした映画が製作されています。

一つは、折戸町木ノ浦海岸をモデルにした劇場映画『さいはてにて～やさしい香りと待ちながら～』です。台湾の女性監督姜秀瓊さんがメガホンをとり、美しい珠洲の自然を背景に女性や家族の絆を描く人間ドラマです。舞台となるロケ地は珠洲市内で、地元の方々もエキストラで出演するなど撮影に協力しています。珠洲市、北國新聞社などによる製作委員会方式で東映が今年の冬公開を目指して製作を進めています。

もう一つは、長編ドキュメンタリー映画『一献の系譜―能登杜氏のいとなみ―』です。監督は、２０１１年に珠洲の塩づくりに励む人々の姿を追ったドキュメンタリー映画『ひとにぎりの塩』を全国公開した石井かほり監督で**す。石**井監督は２作続けて能登を舞台に選んでいます。今作では日本四大杜氏の一つとされる能登杜氏の命を懸けた酒づくりの姿に迫るとともに、能登の風土の温かさと精神性が描かれる予定です。２０１５年春先の完成を目指し撮影が進められています。

お知らせと御礼

レストラン浜中　丼選手権出場結果

本年１月１０日から１９日まで、後楽園東京ドームで開催された「ふるさと祭り東京」の全国ご当地丼選手権にレストラン浜中（上戸町）の香箱カニ丼が、前回５位のシード枠で出場。

石川県の“カ！”が好評を博したものの残念ながら９位で入賞を逸しました。皆様応援ありがとうございました。